

西濃農林事務所の普及活動状況

平成24年9月26日現在

活力ある新産地づくり

■ブロッコリー 定植作業進む

大垣部会 4.6ha、不破部会 3.2ha、安八部会 1.2ha の定植が終わり、全体で約 40% の定植が終了している。苗が小さいほ場については、液肥の散布を指導している。

今年度から栽培を始める海津市でも、9月5日から定植作業が始まっており、定植に当たって、株間の設定、マルチ穴を土でふさぐこと、苗の選び方などを指導している。

売れる農畜産物づくり

■水稻 水稻の収穫状況

コシヒカリの収穫がほぼ終了し、早生品種の品質は、白未熟等が若干見られるものの、大きな品質低下は発生しておらず、収量も昨年よりやや多くなる見込みである。

今月末から、ハツシモ岐阜SLの収穫が開始されるが、刈り遅れにより品質が急速に低下する品種のため、青刈率 15% での収穫開始が徹底されるよう、生産者の適期収穫を支援することとしている。

■小麦 平成25年産小麦の生産に向けて

平成 24 年産小麦は、農林 61 号が 4,260 t、イワイノダイチが 2,820 t と平成 20 年産以来の豊作となり、10a 単収は、それぞれ 5.3 俵、6.9 俵と、特にイワイノダイチの収量が高く、外観品質も一等調製となった。一方で、豊作年には原麦の蛋白質含有率が低くなる傾向にあり、平成 24 年産小麦も昨年に比べかなり低下する結果となっている。

平成 25 年産小麦の生産に向け、適期播種や緩効性肥料の施用など適切な栽培管理により、全生産者が許容値以上の蛋白質含有率を確保できるよう、播種前研修会等により支援する。

■トマト 平成25年産第1回全員研究会の開催

海津トマト部会主催により、9月7日に平成 25 年産の第 1 回全員研究会が開催され、100 名程度の参加者があった。農業普及課からは、灌水・施肥管理、生理障害・病害虫対策等、年間を通じた栽培管理について説明し、生産者からは、生理障害の発生する環境や効果的な病害虫防除等について活発な質問があった。

今回は、第 1 回目の研究会として全生育期間を通して説明したが、今後も定期的に研究会が開催されるため、次回からは各時期に合わせた栽培管理を重点に指導していきたい。

■きゅうり 抑制裁培での取り組み

9月7日に、海津胡瓜部会抑制裁培の巡回研究会が開催され、黄化えそ病対策や今後の栽培管理等について指導を行った。

24年産抑制裁培の出荷は、昨年より3日早く、9月9日から始まっており、今作において、ミナミキイロアザミウマの防除対策として、赤色防虫ネット被覆を2カ所、天敵（スワルスキーカブリダニ）利用を8カ所の実証ほを設置し、検討を行っていく。



【スワルスキープラス】

■いちご 花芽分化確認、定植へ

9月12日～14日に花芽検鏡を行い、花芽分化後定植の確実な実施に取り組んだ。今年の花芽分化は、9月14日～17日頃がピークで、昨年より数日早くなっているが、例年同様に、一部で確認前の定植が行われた。

炭そ病は、例年よりも発生は少なかったが、終盤にかけて徐々に増えた。

■ナバナ 根こぶ病対策と播種作業省力化を支援

近年、ナバナに根こぶ病が発生しており、その対策として有効な土壌 pH 矯正を実施するため、土壌診断と施肥指導を行った。

また、9月に入りナバナの播種・育苗が開始されており、作業省力化のためシーダーテープを用いた直播栽培が導入されつつある。本年度は、昨年の1.2倍の約180aで直播栽培に取り組むこととなり、播種作業の支援を行った。

■かき 先進地視察の実施

9月13日に行われた、養老町果樹振興会による柿の先進地視察を支援した。

県農業技術センターの柿ほ場で、太秋と早秋の栽培ポイント、富有柿の袋掛け栽培や基本的な仕立て方の説明を受け、本巣市の生産ほ場では、間伐の重要性や竹支柱による理想的な樹形の維持方法、草生栽培について説明を受けた。今回の視察で得た技術と情報を踏まえ、今後の当地域の栽培技術向上に繋げていく。

■バラ 現地研修会の開催

8月28日に、神戸町バラ生産組合主催の現地研修会が開催され、病虫害防除所担当係長が講師となり、バラの難防除病害虫であるハダニ類とうどんこ病防除のポイントについて説明があった。

農業普及課からは、病気の発生を促す葉や花卉の結露を防ぐため、温室内の除湿や温度ムラの改善について助言した。



【研修会の様子】

戦略的な流通・販売

■安八町農産加工運営委員会 栽培視察研修会の実施

9月11日に、安八町農産加工運営委員会視察研修会の支援を行った。

白川町の(有)てまひまグループにおいて、活動の概要、法人化の経緯、商品づくりから販売までの取り組みについて説明を受け、グループで運営する「てまひまの店」では、常時50品目が並ぶ商品を見学し、共通する梅の加工・漬物について意見交換するなど、今後の活動に役立つ研修となった。

多様な担い手の育成・確保

■FBC 秋花壇地方審査の実施

9月11日に、西濃ブロックにおける岐阜県学校花壇コンクールの地方審査を実施し、上位2校(大垣市立時小学校、海津市立海西小学校)を中央審査へ推薦した。

今年は、4校の参加があり、高温・小雨の夏にも関わらず、いずれの学校も、例年以上にボリューム感のある生き生きとした出来映えの花壇であった。



【審査の様子】

県民みんなで育む農業・農村

■ブロッコリー 定植体験の実施

9月21日に、JA西美濃ブロッコリー生産協議会大垣部会の食農教育活動として、青墓小3年生約80名がブロッコリーの定植作業を行った。

農業普及課から、ブロッコリー栽培のポイントについて説明した後、部会員、JA営農アドバイザーとともに、定植作業を指導した。収穫体験も12月下旬頃に行う予定である。